

# Out of Box相談室



## 研究の実用化に向けた相談室

### Out of Box相談室とは！

「Out of Box 相談室」は、無料で直接相談できる、LINK-J主催の研究成果実用化育成支援プログラムです。実用化に向けた研究の方向性やシーズの応用に関するご相談など、製薬企業、ベンチャーキャピタル、コンサルタントなど創薬・バイオサイエンスの最前線で活躍するサポーターに意見を求めることができます。アカデミアや企業という所属を問わず、若手からシニアまで誰でもお気軽にお越しください。



#### 日時

毎週金曜日 13:00-17:00  
※金曜日以外もご相談ください。

#### 場所

原則オンライン

#### 予約

##### 予約制

※ご予約はメールにて([contact@link-j.org](mailto:contact@link-j.org))までご連絡ください。  
※毎週水曜日の15時までにご予約ください。

## アドバイザー紹介

### 瀬尾 亨氏 (LINK-Jサポーター)

大手外資企業製薬会社勤務。  
全てカバーしますが、代謝・心疾患・炎症免疫、  
希少疾患を得意とします。  
また昨今ではベンチャー設立サポートなどを含  
む新たなエコシステム構  
築や豊富なネットワークを  
用いて新規ビジネスモデル  
などを行なっている。

趣味：チャリ



### 能見 貴人氏 (LINK-Jサポーター)

オープンイノベーションのコンサルティング会社  
代表取締役。  
これまでグローバルメグファーマ3社で、創業研  
究所所長、オープンイノベーション担当ディレク  
ターとして活躍。  
創業に関連するすべてのテーマ  
をカバーしますが、特に以下の  
領域に強みを持ちます。

癌・免疫・炎症・循環・代謝性  
疾患・中枢変性疾患・希少疾  
患・ワクチン・創業基盤技術

また、国内外の製薬企業・バイ  
オベンチャー・アカデミアに豊富  
なネットワークを有しています。



### 高橋 俊一氏 (LINK-Jサポーター)

大手外資企業製薬会社勤務。  
これまで、米国研究部門での研究経験に加え、  
国内創業研究部門での主幹研究員、開発部  
門プロジェクトマネジメントでの循環器部領  
域責任者等を経て現オープンイノベーション関  
連部門のセンター長。

全てのテーマを網羅していますが、特に以下の  
疾患領域のエキスパートです！

腎臓・心臓。代謝疾患、iPS/  
幹細胞研究・デジタルヘルス

また、バイオベンチャーのイン  
キュベーションなども積極的  
に行っています。



### 浜上 欣司氏 (LINK-Jサポーター)

大手商社系ベンチャーキャピタルに勤務。  
これまで大手外資製薬で創業研究、バイオベ  
ンチャー経営を経験。  
国内外のバイオベンチャーにハンズオン投資  
し、取締役として経営、事業  
開発、研究開発、知財戦略  
を支援。  
日米欧中の製薬会社・投資  
家に幅広いネットワーク。



### 渡辺 勇人氏 (LINK-Jサポーター)

外資系ベンチャーキャピタル勤務。15年以上の  
投資経験。大手金融機関投資部門、産業革新  
機構(バイオ投資担当等)を経て現職に至る。  
創業ベンチャー、医療機器、デジタルヘルス  
全領域をカバー。日米中印欧の  
グローバルネットワークを活用  
し、シーズ・技術のビジネス化に  
貢献出来ればと思います。



### H氏

内資系及び外資系企業で述べ20年以上の医薬  
品・診断における探索・評価経験があります。  
創業に関連するすべての領域を基本的にカバー  
できますが、特に以下の領域に強みを持ちます。  
欧米企業との接し方、日本人の  
強みの活かし方等も十分に理  
解しております。

がん・免疫・炎症・神経変性疾  
患・糖尿病・疼痛・個別化医療  
(バイオマーカー)



### K氏

国内大手シンクタンクに勤務  
国公立の大学院薬学系研究科を卒業後、現職  
に就いています。  
ヘルスケア領域の官民のプロジェクトを多数経  
験し、現在は製薬企業の長  
期ビジョン・中期経営計画の  
策定、研究開発戦略策定、  
海外進出実行支援、新規事  
業・サービスの立ち上げ支援  
を主に担当しています。  
サイエンス、ビジネス、医療政  
策などの幅広い視点からアド  
バイス致します。



### 松本 慶氏

大手外資系法律事務所に所属するパートナー  
弁護士。  
弁護士登録から18年目になりますが、知的財  
産権に関する訴訟などによる紛争解決、ライセ  
ンス・共同研究など知的財産関  
連の取引へのサポートを中心  
に実務に携わってきました。米国  
に常駐し、1年以上専ら米国で  
の特許権侵害訴訟に携わっ  
ていたことでもあります。ライセ  
ンス・共同開発契約などにつぎま  
しては日常業務として取り組ん  
でおりますが、近時バイオベン  
チャー企業の買取にも関与しま  
した。認知症対策や超高齢化  
社会に向けた弁護士の役割に  
ついて模索中です。



### F氏

医師(麻酔科)・研究者(iPS細胞培養やゲノム  
科学など)を経て、コンサル・シンクタンクの現  
職に就いております。  
細胞製剤や医療機器などに対する、医療現場  
でのニーズ、技術の活用  
にあたって現場で障壁になる  
可能性のあるもの、  
シーズが活用できそうな疾  
患、意見交換や情報収集  
等を行うべき診療科などを  
主にお伝えできればと思い  
ます。  
皆様のアイデアやシーズ  
が活用できる場面を一括  
に考えていきましょう。

